

教科別採択教科書報告書

教科名 道徳	分野等
出版社 光村図書	書名 中学道徳1～3 きみがいちばんひかるとき
1. 学習指導要領への対応 (1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、道徳で学ぶ22項目や、道徳を学ぶ意義とどのように学ぶのかというオリエンテーションのページが巻頭に載っていて、一年間の見通しをもって主体的・対話的に学習に臨めるよう工夫されている。 (2)全ての教材、もしくは教材末に学習のてびき「考えよう」が設けられ、生徒が授業で何を考えていけばよいのかが明確になっている。また、学習のてびきに示された問いは、自分に引き寄せて考えたり、見方を変えて問題を解決するために話し合ったりする等、生き方についての考えを深め、多面的・多角的に考えられる内容となっている。また、教材末に「つなげよう」が設けられて、他の教材の学習内容と関連付けながら考えることを促しており、多面的・多角的に考えられる内容となっている。 (3)対話的な学びを大切にするための配慮や工夫として、話し合いの時間を十分に確保するため、道徳的な問題が起こっている場面について、挿絵と短い文章で端的に示した教材を配しており、教師の授業構想に配慮した工夫がなされている。	
2. 内容について (1)道徳で学ぶ22項目が最初に明示されていて、生徒が見通しを持ちやすく、分かりやすい。 (2)どの学年にも「道徳の学習を始めよう」という道徳を学ぶ意義やどのように学ぶのか考える単元、各単元で学ぶ「道徳道案内」というオリエンテーションのページが最初に載っていて、生徒の主体性を高めることに繋がる。 (3)2次元バーコードから、動画や音声、様々な資料を活用することができる。 (4)「まなびの道具箱」等、思考ツールの活用を紹介するページ等があり、生徒の思考を深めることに役立つ。 (5)定番教材から、現代社会で問題になりやすいSNSトラブルを基にした題材、中学生がよく目にするような漫画や有名人に関連した教材が使われており、生徒の主体性を促進し、学びを深めることに繋がる。 (6)巻末の補充教材には、小学校道徳の定番教材が使用されており、既習の物語を学習し直すことで、自らの考え方の変化や成長を確かめることができる。 (7)「1年間の学びを振り返ろう」というページが巻末にあり、1年間の道徳の学習を振り返り、見つめ直す場を設けることができる。	
3. 造本について (1)見やすい字体、段組、行間など、生徒が読みやすい文字組みがされている。 (2)活字・写真・図表・イラスト等の印刷は鮮明で、紙質や製本も適切である。色覚などに対する配慮もされている。 (3)生徒が手に持ちやすく、つくりは堅牢で、机上で扱いやすいB5変型判となっている。	